



新発田民主商工会
新発田市豊町2-3-3
Tel0254-22-4390
FAX 22-4705
2016.9.5
NO 2023

市・町議員と懇談

業者要求の実現めざし、首長との交渉を計画！

新発田民商は8月19日、地方自治体要請に向けて、市・町議員団との懇談会を行いました。

当日は、加藤和雄・日本共産党新発田市会議員団長、宮村幸男・同市会議員、中村恵美子・日本共産党聖籠町会議員が出席。民商側は稻葉正美副会長ら3人が参加し、和やかに懇談しました。

懇談では、新発田市が「小規模企業活性化推進基本条例」に基づいて市内小企業者への「実態調査」を行っていることが話題に。そして、聖籠町も含め「実態調査」の内容を分析・検討し、民商としても振興計画の対案を各自治体に提案することを話し合いました。また、「住宅リフォーム助成制度」の縮小・廃止が懸念される中、地域経済に及ぼす波及効果や小規模業者の「仕事起こし」の重要な施策であることを確認し、「同制度の継続・拡充をめざし、議会内外で運動に取り組もう」と決意し合いました。

さらに、平成30年度からの国保「県単位化」について、「国保制度はどうに変わってくるのか」「国保税の料率や減免制度はどうなるのか」など様々な不安が出され、早急に担当部局との懇談が必要と話し合いました。

また、滞納問題については「払うに払えない」滞納世帯の増加や収納窓口での徴収強化の実態が明らかになりました。そして、地方税でも申請型「換価の猶予」など、納税緩和措置を積極的に使えるよう自治体に要請し、改善を求めるなどを確認しました。

話し合いの中では、9月議会終了後に、業者要求をまとめ、新発田市長・聖籠町長との懇談・交渉を行うことを決めました。

婦人部主催

「介護を考える学習懇談会」を開催！



『介護社会』に向き合っていくにはどうすればよいか」学び交流していくこと、「ケアプランセンター菜の花の講師に迎え、介護保険制度のしくみや利用の仕方のほか、たび重なる制度の改悪による利用者負担の増大や軽度者が保険対象外にされているなどの問題点もお話をいただきました。

参加者からは、「夫は要支援2だが来年からサービスがどうなるのか不安」「お金のある人しか介護サービスが使えなくなっている」「介護を受けなくともいいように予防教室などに参加したい」「制度を良くするには、行政に要望したり、政治を変えていくことが必要」と活発な意見交換がされました。

婦人部では今後も定期的に開催していきたいと考えています。

● 民商会員の紹介で、小売販売の開業者が入会 ●

8月、小売販売を開業したAさんが民商に入会しました。Aさんは、「記帳や税務の相談は、『商工会か税理士、又は民商か』の三択だと思っていたが、同業者から『税金のことなら民商が良いよ』と紹介され、相談に来た」と快く会員になりました。

早速、Aさんは「パソコン会計」を準備し、みんなと一緒に記帳に励んでいきます。

今後の日程

第7回立派主義と憲法9条をまもる新潟県民の集い in 新潟田
**「いかぞう憲法!
まもう9条!」**

日時 9月11日(日)
13:30~15:45 開場12:45
チケット代
会場
料金
登録
チケット
新潟田市民文化会館ホール
(新潟田市中央町1丁目1-1)
500円
中野 翔一さん
(上智大学教授)
非立憲的政権は許さない
～新潟田の運営と展望も語ります～
チケットは民商にあります！